**八幡山ロープウェー**

八幡山ロープウェーは標高272mの八幡山に登るロープウェイだ。16世紀末に八幡山城が築かれたこの山からは、周囲の田園風景を一望することができる。山上には城の石垣の跡があり、城の本丸跡には瑞龍寺がある。

ロープウェーで麓から山頂まで約4分。車内からは南側に近江八幡の町並みが一望できる。北東側には西の湖と、琵琶湖と町の間に位置する水郷が見える。西の湖の向こうには、安土山や衣笠山があり、16世紀には重要な城郭があった。山上の駅から少し林道を歩くと、山頂北側の展望台があり、西へと琵琶湖や比良山系を見渡すことができる。

ロープウェーは年中無休で、午前9時から午後5時まで15分間隔で運行している（上り最終は午後4時30分）。料金は、大人片道500円、往復890円。小人（6歳以上13歳未満）は片道250円、往復450円。5歳以下の子供は無料。

八幡山ロープウェーは日牟禮八幡宮から徒歩3分だ。ロープウェー入口にあるお土産屋さんは餡子でできている地元の名産品である「丁稚羊羹」や「ロープウェーせんべい」、クラフトビールなどを販売している。